

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成22年4月15日(2010.4.15)

【公表番号】特表2009-530408(P2009-530408A)

【公表日】平成21年8月27日(2009.8.27)

【年通号数】公開・登録公報2009-034

【出願番号】特願2009-501606(P2009-501606)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

C 1 2 N 5/07 (2010.01)

A 6 1 K 31/405 (2006.01)

A 6 1 K 31/192 (2006.01)

A 6 1 K 31/616 (2006.01)

A 6 1 K 31/63 (2006.01)

A 6 1 K 31/4152 (2006.01)

A 6 1 K 31/357 (2006.01)

A 6 1 K 31/5575 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

C 1 2 N 5/00 E

A 6 1 K 31/405

A 6 1 K 31/192

A 6 1 K 31/616

A 6 1 K 31/63

A 6 1 K 31/4152

A 6 1 K 31/357

A 6 1 K 31/5575

A 6 1 P 43/00 1 0 5

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月26日(2010.2.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被験体において造血性幹細胞の増殖を促進するための医薬の製造における、少なくとも1つの造血性幹細胞(HSC)調節物質の使用であって、該HSC調節物質が、PGE2、PGI2、リノール酸、13(s)-HODE、LY171883、ミード酸、エイコサトリエン酸、エボキシエイコサトリエン酸、ONO-259、Cay1039、PGE2受容体アゴニスト、16,16-ジメチルPGE2、19(R)-ヒドロキシPGE2、16,16-ジメチルPGE2 p-(p-アセトアミドベンザミド)フェニルエステル、11-デオキシ-16,16-ジメチルPGE2、9-デオキシ-9-メチレン-16,16-ジメチルPGE2、9-デオキシ-9-メチレンPGE2、ブタプロスト(Butaprost)、サルプロストン(Sulprostone)、PGE2セリノールアミド、PGE2メチルエステル、16-フェニルテトラノールPGE2、15(S)-15-メチルPGE2、15(R)-15-メチルPGE2、BIO、8-プロモ-cAMP、フォルスコリン、Bapta-AM、フェンジリン(Fendiline)、ニカルジピン、ニフェジピン、ピモジド、ストロファンチジ

ン、ラナトシド、L-Arg、ニトロプルシドナトリウム、パナジン酸ナトリウム、ブラジキニン、メベベリン、フルランドレノリド (Flurandrenolide)、アテノロール、ピンドロール、ガボキサドール (Gaboxadol)、キヌレン酸、ヒドララジン、チアベンダゾール、ピククリン、ベサミコール (Vesamicol)、ペルボシド (Peruvoside)、イミブラミン、クロルプロパミド、1,5-ペンタメチレンテトラゾール、4-アミノピリジン、ジアゾキシド、ベンフォチアミン、12-メトキシドデセン酸 (Methoxydodecenoic acid)、N-ホルミル-Met-Leu-Phe、ガラミン、IAA 94、クロロトリアニセン、およびそれらの誘導体からなる群より選択される、前記使用。

【請求項 2】

PGE2、PGI2、リノール酸、13(s)-HODE、LY171883、ミード酸、エイコサトリエン酸、エポキシエイコサトリエン酸、ONO-259、Cay1039、PGE2受容体アゴニスト、16,16-ジメチルPGE2、19(R)-ヒドロキシPGE2、16,16-ジメチルPGE2 p-(p-アセトアミドベンザミド)フェニルエステル、11-デオキシ-16,16-ジメチルPGE2、9-デオキシ-9-メチレン-16,16-ジメチルPGE2、9-デオキシ-9-メチレンPGE2、ブタプロスト、サルプロストン、PGE2セリノールアミド、PGE2メチルエステル、16-フェニルテトラノールPGE2、15(S)-15-メチルPGE2、15(R)-15-メチルPGE2、BIO、8-プロモ-cAMP、フォルスコリン、Bapta-AM、フェンジリン、ニカルジピン、ニフェジピン、ピモジド、ストロファンチジン、ラナトシド、L-Arg、ニトロプルシドナトリウム、パナジン酸ナトリウム、ブラジキニン、メベベリン、フルランドレノリド、アテノロール、ピンドロール、ガボキサドール、キヌレン酸、ヒドララジン、チアベンダゾール、ピククリン、ベサミコール、ペルボシド、イミブラミン、クロルプロパミド、1,5-ペンタメチレンテトラゾール、4-アミノピリジン、ジアゾキシド、ベンフォチアミン、12-メトキシドデセン酸、N-ホルミル-Met-Leu-Phe、ガラミン、IAA 94、クロロトリアニセン、およびそれらの誘導体からなる群より選択される少なくとも1つのHSC調節物質の存在下でHSCをインキュベーションする段階を含む、エキスピボでHSC増殖を促進するための方法。

【請求項 3】

PGE2、16,16-ジメチルPGE2、PGI2、リノール酸、13(s)-HODE、LY171883、ミード酸、エイコサトリエン酸、エポキシエイコサトリエン酸、ONO-259、Cay1039、PGE2受容体アゴニスト、およびそれらの誘導体を含む群より選択される少なくとも1つのHSC調節物質の存在下でHSCをインキュベーションする段階を含む、エキスピボでHSC増殖を促進するための方法。

【請求項 4】

HSCを増加させる適切な量のHSC調節物質を事前搭載した低温貯蔵保管容器を含む、HCS源試料の収集および保管のためのキット。

【請求項 5】

HSCを増加させる適切な量のHSC調節物質を含む低温貯蔵保管容器およびバイアルを含む、HCS源試料の収集および保管のためのキット。

【請求項 6】

HSC調節物質が、PGE2、PGI2、リノール酸、13(s)-HODE、LY171883、ミード酸、エイコサトリエン酸、エポキシエイコサトリエン酸、ONO-259、Cay1039、PGE2受容体アゴニスト、16,16-ジメチルPGE2、19(R)-ヒドロキシPGE2、16,16-ジメチルPGE2 p-(p-アセトアミドベンザミド)フェニルエステル、11-デオキシ-16,16-ジメチルPGE2、9-デオキシ-9-メチレン-16,16-ジメチルPGE2、9-デオキシ-9-メチレンPGE2、ブタプロスト、サルプロストン、PGE2セリノールアミド、PGE2メチルエステル、16-フェニルテトラノールPGE2、15(S)-15-メチルPGE2、15(R)-15-メチルPGE2、BIO、8-プロモ-cAMP、フォルスコリン、Bapta-AM、フェンジリン、ニカルジピン、ニフェジピン、ピモジド、ストロファンチジン、ラナトシド、L-Arg、ニトロプルシドナトリウム、パナジン酸ナトリウム、ブラジキニン、メベベリン、フルランドレノリド、アテノロール、ピンドロール、ガボキサドール、キヌレン酸、ヒドララジン、チアベンダゾール、ピククリン、ベサミコール、ペルボシド、イミブラミン、クロルプロパミド、1,5-ペンタメチレンテトラゾール、4-アミノピリジン、ジアゾ

キシド、ベンフォチアミン、12-メトキシドデセン酸、N-ホルミル-Met-Leu-Phe、ガラミン、IAA 94、クロロトリアニセン、およびそれらの誘導体からなる群より選択される、請求項4または5記載のキット。

【請求項 7】

HCS源試料がヒト臍帯血である、請求項4または5記載のキット。

【請求項 8】

HSC調節物質がPGE2または16,16-ジメチルPGE2である、請求項4または5記載のキット。

【請求項 9】

HSCを増加させる適切な量のHSC調節物質を含む、低温貯蔵容器。

【請求項 10】

HSC調節物質が、PGE2、PGI2、リノール酸、13(s)-HODE、LY171883、ミード酸、エイコサトリエン酸、エボキシエイコサトリエン酸、ONO-259、Cay1039、PGE2受容体アゴニスト、16,16-ジメチルPGE2、19(R)-ヒドロキシPGE2、16,16-ジメチルPGE2 p-(p-アセトアミドベンザミド)フェニルエステル、11-デオキシ-16,16-ジメチルPGE2、9-デオキシ-9-メチレン-16,16-ジメチルPGE2、9-デオキシ-9-メチレンPGE2、ブタブロスト、サルブロストン、PGE2セリノールアミド、PGE2メチルエステル、16-フェニルテトラノールPGE2、15(S)-15-メチルPGE2、15(R)-15-メチルPGE2、BIO、8-プロモ-cAMP、フォルスコリン、Bapta-AM、フェンジリン、ニカルジピン、ニフェジピン、ピモジド、ストロファンチジン、ラナトシド、L-Arg、ニトロプルシドナトリウム、パナジン酸ナトリウム、ブラジキニン、メベベリン、フルンドレノリド、アテノロール、ピンドロール、ガボキサドール、キヌレン酸、ヒドララジン、チアベンダゾール、ピククリン、ベサミコール、ペルボシド、イミブラミン、クロルプロパミド、1,5-ペンタメチレンテトラゾール、4-アミノピリジン、ジアゾキシド、ベンフォチアミン、12-メトキシドデセン酸、N-ホルミル-Met-Leu-Phe、ガラミン、IAA 94、クロロトリアニセン、およびそれらの誘導体からなる群より選択される、請求項9記載の低温貯蔵容器。

【請求項 11】

HSC調節物質がPGE2または16,16-ジメチルPGE2である、請求項10記載の低温貯蔵容器。

【請求項 12】

哺乳動物HSCおよび薬学的に許容される担体を含む薬学的組成物であって、該HSCが臍帯血に由来し、かつHSCを増加させるHSC調節物質と接触している、薬学的組成物。

【請求項 13】

被験体においてHSC増殖を阻害するための医薬の製造における、少なくとも1つのHSC調節物質の使用であって、該HSC調節物質が、インドメタシン、フェンブフェン、NS398、SC 560、スリンダク、スキシブゾン、アスピリン、ナプロキセン、イブプロフェン、セレコキシブ、PGJ2、アリストロキン酸 (Aristolochic Acid)、AH6809、AH23848、ケンパウロン (Kenpaulone)、パルプロ酸、PD98059、KT5720、H89、U0126、ワートマニン、BayK 8644、チリダジン、L-NAME、エナラプリル、カプトプリル、AcSDKP、ロサルタン、AcSDKP、ロサルタン、テリマサルタン (Telimasartan)、ヒスタミン、アンプロキソール、クリシン、シクロヘキシミド、メチレンブルー、エピネフリン、デキサメタゾン、プロアジフェン (Proadifen)、ベンジルイソチオシアネート、エフェドリン、パラジリン (Paragyl ine)、プロプラノロール、エタニダゾール (Etanidazole)、メチマゾール、シノキサシン、ペニシラミン、フロセミド、エブルナミニノン (Eburnaminone)、アクラルピシン、ワルファリン、 α -アミノ酪酸、ノルエチンドロン、ルビニジン (Lupinidine)、ヒドロキニジン (Hydroquinidine)、トドララジン、メトキサミン、ヒドロキシウレア、ジヒドロエルゴタミン、アンタゾリン、3-ニトロプロピオン酸 (3-Nitropropionic Acid)、N-フェニルアントラニル酸、フェナゾピリジン、ジクロロキヌレン酸 (Dichlorokynureic acid)、3-エストラジオール、L-Leu、フェノキシベンザミン、メフェンテルミン、グバシン (Guvacine)、グアイアズレン、イミダゾール、 β -カロテン、クロフィブラート、PGE受容体アンタゴニスト、およびそれらの誘導体からなる群より選択される、前記使用。

【請求項 14】

被験体においてHSC増殖を阻害するための医薬の製造における、少なくとも1つのHSC調節物質の使用であって、該HSC調節物質が、インドメタシン、フェンブフェン、NS398、SC 560、スリンダク、スキシブゾン、アスピリン、ナプロキセン、イブプロフェン、セレコキシブ、PGJ2、アリストロキン酸、AH6809、AH23848、およびそれらの誘導体からなる群より選択される、前記使用。